

（４）がん検診事業

保健福祉部健康課

平成23年度 事務事業評価（外部評価）事業説明シート （平成22年度実施事業）

基本データ	事務事業名										担当部署											
	がん検診事業										部	保健福祉部					課長	瀬沼 倫子				
											課	健康課					担当	金子 恭子				
											係	健康係					電話	内線2177				
	第4次総合基本計画における位置付け										実施根拠＜法令、要綱等＞											
政策項目	02	暮らしを支える（健康と福祉の充実）								がん対策推進基本計画												
大項目	01	健康に暮らす（市民の健康づくり）																				
中項目	01	健康・医療																				
予算科目（コード）		款	04	項	01	目	01	細目	008	細々目	01	H	年度～年度									
事務事業概要	目的																					
	<対象は誰、何か>										<対象をどのような状態にすることを意図しているか>											
	市民（成人）										がんの早期発見、早期治療により、市民の健康の保持増進を図る。											
	事業実施方法																					
	☐ 直接実施 ■業務委託（委託先：昭島市医師会）																					
	☐ 補助金（補助先： ） ☐ その他（ ）																					
	内容																					
	1胃がん検診（30歳以上の市民）、2乳がん検診（40歳以上の市民（女性））、3子宮頸がん検診（20歳以上の市民（女性））、4大腸がん検診（40歳以上の市民）、5肺がん検診（30歳以上の市民）、6前立腺がん検診（55歳以上の市民（男性））																					
	細事業（主な事業内訳）										平成22年度決算額					備考（細事業内容についての補足）						
	賃金：臨時職員賃金										26 千円											
	需用費：消耗品費										154 千円											
	需用費：印刷製本費										655 千円											
	役務費：通信運搬費（郵便料）										733 千円											
	委託料：がん検診委託										83,800 千円											
	胃がん検診										10,076 千円					1人*5920円						
乳がん検診										17,376 千円					1人*9969円							
子宮頸がん検診										31,624 千円					1人*9644円							
大腸がん検診										12,681 千円					1人*5866円							
肺がん検診										6,729 千円					1人*9275円							
前立腺がん検診										5,314 千円					1人*3000円							
委託料：クーポン券作成等委託										1,413 千円												
										千円												
										千円												
										千円												
										千円												
										千円												
										千円												
										千円												
										千円												
事業の必要性																						
がん検診は健康増進法に基づく健康推進事業として位置付け実施している。 国は、平成19年4月に「がん対策基本法」を策定し、6月には「がん対策推進基本計画」を閣議決定した。それを受けて東京都では、「がんの年齢調整死亡率（75歳未満）の20%減少」を掲げるとともに、「予防の重視」の観点から、「受診率目標50%を目指す」ことを目標とし、各市町村に通知した。がんは、死亡率第1位を占めており、減少させるためには定期的な検診受診により早期にがんを発見し、適切な治療につなげていくことが重要であるため、昭島市では市民の健康を守る重要な施策として実施している。																						
関連事業																						

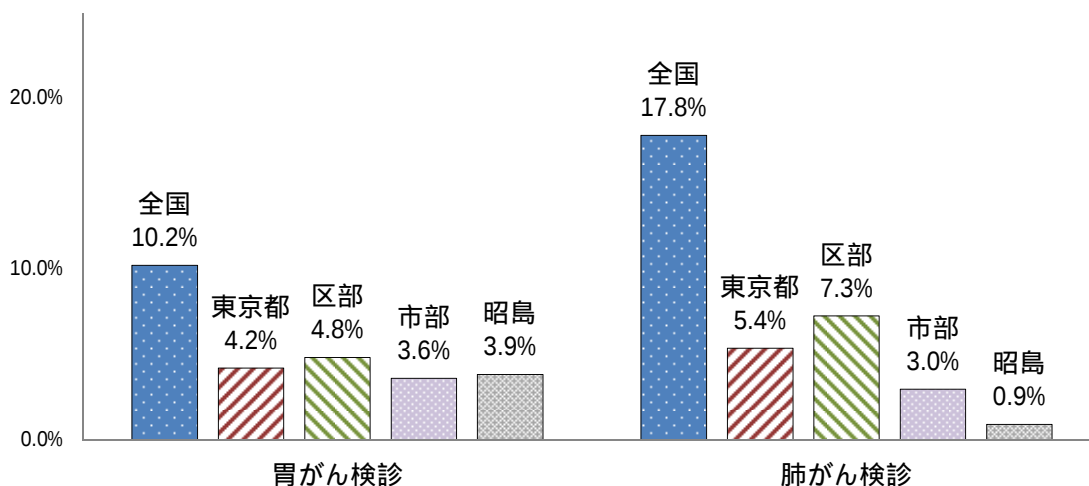
平成23年度 事務事業評価（外部評価）事業説明シート （平成22年度実施事業）

コストと財源内訳	コスト							
			平成21年度決算		平成22年度決算		平成23年度予算	
	直接事業費		86,791 千円		86,780 千円		113,982 千円	
	報酬		千円		千円		千円	
	賃金		100 千円		26 千円		74 千円	
	報償費		千円		千円		千円	
	需用費		690 千円		809 千円		2,588 千円	
	役務費		687 千円		732 千円		736 千円	
	委託料		85,314 千円		85,213 千円		110,584 千円	
	使用料及び賃借料		千円		千円		千円	
	負担金、補助及び交付金		千円		千円		千円	
	扶助費		千円		千円		千円	
	その他		0 千円		0 千円		0 千円	
	人件費		6,800 千円		6,800 千円		6,800 千円	
	一般職員		0.8 人	6,800 千円	0.8 人	6,800 千円	0.8 人	6,800 千円
	再任用職員		0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円
	総事業費		93,591 千円		93,580 千円		120,782 千円	
	財源内訳							
			平成21年度決算		平成22年度決算		平成23年度予算	
	国庫支出金		23,125 千円		11,532 千円		11,281 千円	
(内容)		疾病予防対策事業等補助金		疾病予防対策事業等補助金		疾病予防対策事業等補助金		
都支出金		0 千円		0 千円		0 千円		
(内容)								
その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		
(内容)								
一般財源		70,466 千円		82,048 千円		109,501 千円		
財源合計		93,591 千円		93,580 千円		120,782 千円		
事業の実績と成果	事業実績							
	活動指標		平成21年度（実績）		平成22年度（実績）		平成23年度（予定）	
	胃がん検診		1,616	人	1,621	人	2,450	人
	大腸がん検診		1,908	人	2,067	人	2,800	人
	肺がん検診		337	人	691	人	1,100	人
	単位当たりコスト							
	胃がん検診（1人 税込）		6,216	円	6,216	円	6,479	円
	成果							
	各がん検診 受診定員数							
	胃がん検診		平成21年度	1,600人	平成22年度	1,800人	平成23年度	2,450人
大腸がん検診		平成21年度	1,800人	平成22年度	2,300人	平成23年度	2,800人	
肺がん検診		平成21年度	400人	平成22年度	800人	平成23年度	1,100人	
課題	財政的な課題も大きく、各がん検診において定員枠を設け実施している。そのため、希望する者が受診できない場合もあり「早期発見」「早期治療」を阻害する要因となっている。今後は定員制を撤廃し、希望するすべての方が受診できる環境をつくることが重要な課題である。しかし、多額の予算を必要とするなど市単独での実施は困難な状況にあることから、国や東京都に財政的な支援を要請するとともに、受益者負担も視野に入れた検討をする必要がある。							
自己評価	「健康あきしま21」にがん検診の方向性が示されているが、現在はその実施途中であり目標とする結果には届いていない。しかし、定員を毎年増加するなど、その取組の成果は着実に出ている。実施方法の検討、精度管理の推進など、これからの課題は多いが現状の範囲としては評価できるものと考えている。							
比較参考値	* 別紙参照							
備考								

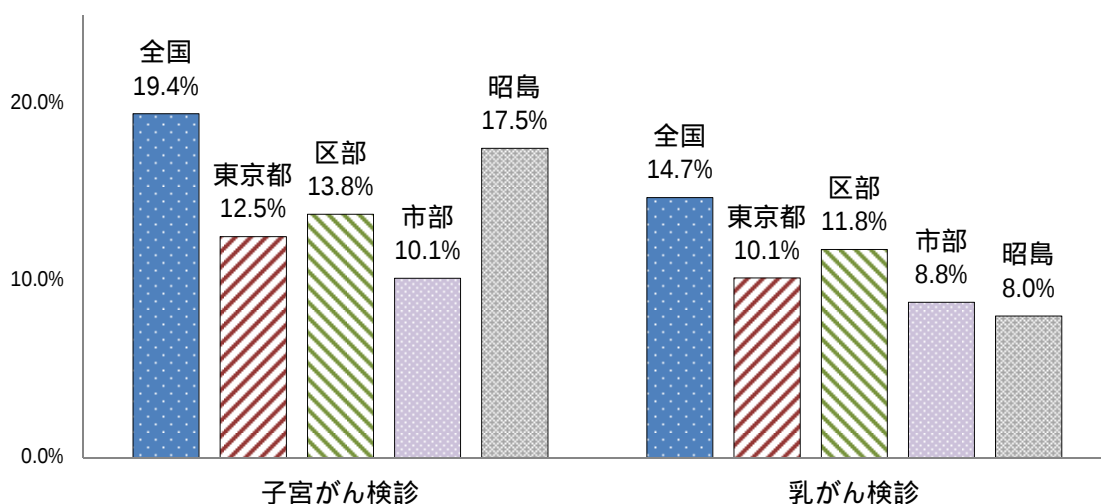
平成23年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成22年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署												
	がん検診事業		部	保健福祉部			課長	瀬沼 倫子							
			課	健康課			担当	金子 恭子							
			係	健康係			電話	内線2177							
	第4次総合基本計画における位置付け							実施根拠＜法令、要綱等＞							
	政策項目	02	暮らしを支える（健康と福祉の充実）							がん対策推進基本計画					
	大項目	01	健康に暮らす（市民の健康づくり）												
	中項目	01	健康・医療							事業期間＜開始・終了予定＞					
	予算科目（コード）	款	04	項	01	目	01	細目	008	細々目	01	H	年度	～	年度
事務事業概要	目的														
	<対象は誰、何か>										<対象をどのような状態にすることを意図しているか>				
	市民（成人）										がんの早期発見、早期治療により、市民の健康の保持増進を図る。				
	内容														
	1胃がん健診（30歳以上の市民） 2乳がん健診（40歳以上の市民（女性）） 3子宮がん検診（20歳以上の市民（女性）） 4大腸がん検診（40歳以上の市民） 5肺がん検診（30歳以上の市民） 6前立腺がん検診（55歳以上の市民（男性））										実績・成果 受診率 1胃がん検診 4.5% 2乳がん検診 15.1% 3子宮頸がん検診 11.6% 4大腸がん検診 5.0% 5肺がん検診 1.9% 胃がん、大腸がん、肺がんについては、受診率は並行であるが、平成21年度より実施された「女性特有のがん検診事業」により、乳がん、子宮頸がん検診については受診率が伸びている。				
	コスト		(単位)	平成21年度決算		平成22年度決算		平成23年度予算		備考＜特財名称等＞					
	直接事業費		千円	86,791		86,780		113,982		疾病予防対策事業等補助金					
	財源内訳	国庫支出金	千円	23,125		11,532		11,281							
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
	一般財源		千円	63,666		75,248		102,701							
	一般職員人件費		千円	6,800		6,800		6,800							
	人工数		人	0.80		0.80		0.80							
	再任用職員人件費		千円												
人工数		人													
総事業費		千円	93,591		93,580		120,782								
事務事業評価	個別評価（大いにある→5、概ねある→4、どちらかというところ→3、あまりない→2、ない→1）														
	必要性		5		➡ <判断理由>		妥当性		5		➡ <判断理由>				
	がん検診は、健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけ実施している。がんは、死亡原因第1位を占めているため、減少させるためには、検診受診率を上げることが重要であるため、定期的な検診受診が必要となる。検診受診により、早期にがんを発見し、適切な治療につなげていくためにも、がん検診事業は重要である。市民の意識も高く、例年定員枠を超える大幅な応募があり、必要性を感じる。										がん検診事業は、毎年「広報あきしま」に折り込まれる「保健事業のお知らせ」が、市民の周知には適切である。また、各検診ごとにホームページや広報に掲載し適切に周知されている。事業に関しては、市内医療機関で実施されている。				
	有効性		5		➡ <判断理由>		効率性		5		➡ <判断理由>				
	検診受診者によるがんの早期発見により、適切な治療を行うことで医療費の削減につながっている。しかし、各がん検診ともに定員枠があり、希望者全員が受診できない現状があるため定員枠を拡大し、市民の健康増進を図りたい。										がん検診は、昭島市医師会に業務委託している。医師会を通じ各医療機関と連携を密に取り、事業の運営がスムーズに行われている。各がん検診ともに、市内医療機関で受診できることで身近に検診が受診できるように行っている。				
合計点数（20点満点）		20点		評価全般・今後の方向性に関するコメント＜理由、改善内容等＞											
今後の方向性（拡充、現状維持など）		拡充		健康あきしま21計画の目標値をクリアするためには、事業の拡充は当然必要となる。実施方法については若干の修正の必要もあるが、現状としてはベストであると考えている。											

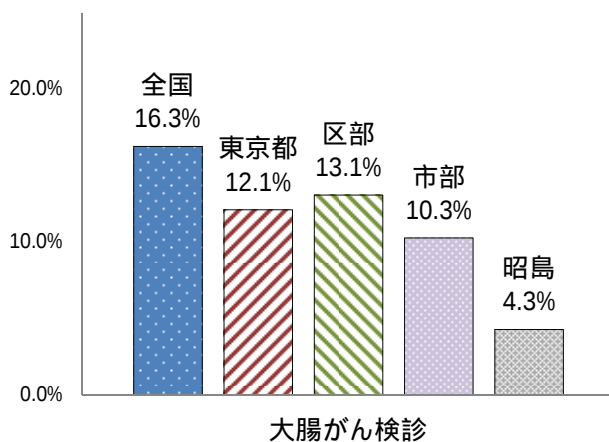
胃がん・肺がん検診の受診率の状況(平成20年度)



子宮がん・乳がん検診の受診率の状況(平成20年度)



大腸がん検診の受診率の状況 (平成20年度)



受診率 = 受診者数 / 対象者数
 (対象者数 = 対象年齢者数 × 対象人口率)
 受診率を比較する場合、統一した算定方法が必要となる。そのため、東京都が対象年齢者について調査し、区市町村で実施する各がん検診の受診が必要な者の割合を算出し、対象人口率として示している。

資料：東京都がん検診支援サイト「がん検診対象者数・受診者数・受診率(区市町村別)」

* 子宮頸がん検診は、原則として2年に1回行うこととしているが(がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針)、本市では毎年実施しているため、受診率は換算した数値としている。

がん検診事業実施状況(平成20～22年度)

	年度	定員数(人)	応募者数(人)	受診者数(人)	抽選もれ(人)
胃がん	20	1,600	1,701	1,502	0
	21	1,600	2,012	1,616	311
	22	1,800	2,504	1,621	672
肺がん	20	400	613	351	213
	21	400	939	329	539
	22	800	1,129	691	318
大腸がん	20	1,800	2,027	1,727	0
	21	1,800	2,427	1,906	527
	22	2,300	2,821	2,049	485
子宮頸がん	20	2,700	2,789	2,688	0
	21	2,700	2,850	2,511	0
	22	2,700	2,680	2,099	0
乳がん	20	900	967	923	0
	21	900	1,052	1,077	0
	22	1,000	979	761	0

子宮頸がんと乳がんについては、クーポン券による受診者数を除く

多摩26市 がん検診 自己負担制度導入状況 平成23年4月現在

(単位:円)

検診種別 自治体名	乳がん		子宮頸部がん		肺がん		大腸がん		胃がん		前立腺がん	
	自己負担額		自己負担額		自己負担額		自己負担額		自己負担額		自己負担額	
八王子	○	1,600円	○	700円	○	800円	○	700円	○	500円	未実施	
立川	○	1,000円	○	1,000円	○	1,000円	○	300円	○	900円	未実施	
武蔵野	○	1,000円									未実施	
三鷹												
青梅	○	1,000円	○	500円	○	500円	○	200円	○	500円	未実施	
府中	○	2,000円										
昭島												
調布	○	1,500円									未実施	
町田	○	2,800円	○	1,000円	○	1,200円	○	800円	○	800円	○	1,000円
小金井	○	2,000円									未実施	
小平	○	1,000円									未実施	
日野	○	1,000円										
東村山	○	2,000円	○	1,000円	○	1,000円	○	500円	○	1,000円	未実施	
国分寺											未実施	
国立	○	2,000円									未実施	
福生	○	1,600円										
狛江	○	2,100円									未実施	
東大和												
清瀬	○	2,000円	○	1,000円	○	1,000円	○	500円	○	1,000円	○	1,000円
東久留米	○	1,000円	○	1,000円	○	2,000円	○	1,000円	○	500円	未実施	
武蔵村山												
多摩	○	2,500円										
稲城	○	2,380円	○	2,250円	未実施		○	460円	○	1,330円		
羽村	○	1,600円									未実施	
あきる野	○	1,500円	○	1,500円	○	1,000円	○	300円	○	1,000円	○	300円
西東京												
自己負担のある 自治体数	20市		9市		8市		9市		9市		3市	
	1	2,800円	1	2,250円	1	2,000円	1	1,000円	1	1,330円	2	1,000円
	1	2,500円	1	1,500円	1	1,200円	1	800円	3	1,000円	1	300円
	1	2,380円	5	1,000円	4	1,000円	1	700円	1	900円		
	1	2,100円	1	700円	1	800円	2	500円	1	800円		
	5	2,000円	1	500円	1	500円	1	460円	3	500円		
	3	1,600円					2	300円				
	2	1,500円					1	200円				
	6	1,000円										
自己負担のない 自治体数	6市		17市		17市 (稲城市を除く)		17市		17市		9市	

府中市の前立腺がんは、人間ドックの一項目として20歳以上について実施。人間ドックの負担額は16,000円又は11,000円